

INON

水中クローズアップレンズ

UCL-G55 ZD

使用説明書

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」(本書)と別冊の使用説明書をよくお読みの上、正しく製品をお使い下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管して下さい。
- この注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止する為に、重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

下記の注意事項を守らないと、死亡または重傷の原因となる可能性が想定されます

レンズ単体、または、レンズを付けたカメラで、太陽や強い光源を見ない

理由：視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。

理由：一時的な視力障害となり、安全に関わる作業の遂行が困難になるおそれがあります。

直射日光のあたる場所に放置しない

理由：太陽光が集光され、火災の原因となる恐れがあります。

INON

イノン 水中クローズアップレンズ UCL-G55 ZD

イノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。

UCL-G55 ZD は、アクションカメラをメインターゲットに開発された、水中専用クローズアップレンズです。本レンズを取り付ける事により、アクションカメラ単体では撮影困難であった、超近接撮影/超高倍率撮影が可能となります。

※本製品は SD マウントレンズ『UCL-G55 SD』を、ZD マウントに変更したレンズです。

対応製品

取り付けには「カメラ本体」の他、「**純正ハウジング**」、及び弊社「**ZD フロントマスク**」が別途必要です。
ご使用前に下表のいずれかの組み合わせが揃っていることをご確認ください。

メーカー	カメラ本体	純正ハウジング	弊社フロントマスク
GoPro	HERO13/12/11/10 /9 Black	ダイブハウジング (HERO13/12/11/10 /9 Black 用)	ZD フロントマスク for HERO12

製品の主な特徴

- 本レンズを装着することにより、**最短撮影距離が 4.8cm まで大幅に短縮**され、高倍率/近接撮影が可能となります。
- **水中画角 45°、被写界深度 4.8cm～6.2cm**と、超マクロ撮影に特化したクローズアップレンズです。
(※GoPro 単体時: 水中画角 94° / 被写界深度 60cm～∞)
- **⚠️ ピントの合う範囲が狭いため、水中三脚を使用する等、カメラを固定しての撮影をお勧めします。**
- 最短撮影距離と被写界深度が直感的にわかる『**接写装置**』が付属し、ピント合わせを強力にサポートします。
- 取り付け部規格には、バヨネット方式に着脱ロック機構をプラスした**イノン ZD マウント**を採用。水中に於いてもワンタッチでレンズ着脱が可能です。
- 未使用時に水中でレンズを保持する、イノン『**ZD レンズホルダー**』に対応。
- 光学系は、色収差の低減に効果的な**アクロマートレンズ**(色消しタブレット)を含む、コーティングが施された 2 群 3 枚構成。各収差を良好に抑え、マスターレンズの性能を引き出します。

製品内訳

- ・ UCL-G55 ZD 本体 ①
- ・ フロントキャップ (ゴム製/紐付き) ②
- ・ リアキャップ (PC 製) ③
- ・ 接写装置 for UCL-G55 一式 ④
 - 接写装置本体⑤
 - レンズ押さえ環⑥
 - 接写装置フロントキャップ⑦
 - 回転止めピン⑧×3 (1 個は予備)
 - ストラップ⑨
- ・ 着脱式ストラップ ⑩
- ・ ポーチ



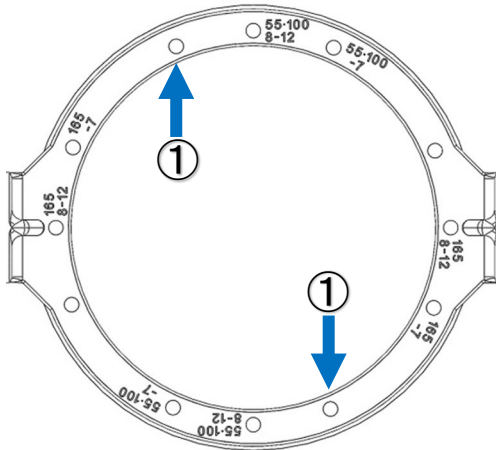
レンズに接写装置を装着する

本レンズはピント合わせを確実にを行うため、付属の『接写装置』を装着してのご使用を推奨します。

① 接写装置本体のベース裏側から、「回転止めピン」を指定の穴 2 箇所に挿し込みます。

回転止めピンを挿し込む穴の位置は、使用する「ZD フロントマスク」によって異なります。下図/下表に従って回転止めピンを挿し込み、六角レンチや硬貨などの硬い物を用いて、最後まで強く押し込んでください。

接写装置本体のベース裏側



ZD フロントマスク	回転止めピン 挿し込み位置
ZD フロントマスク for HERO12 (GoPro 機種 : HERO13/12/11/10/9)	①



② 接写装置本体のベース表側から突き出した「回転止めピン」と、レンズ本体の「溝」を合わせます。

レンズ本体には計 4 箇所の溝があり、回転止めピンを合わせる位置によって距離棒のセット方向が【左右】または【上下】になります。

距離棒を【左右】にセットする場合

「回転止めピン」2 本を、レンズ本体の「INON ロゴ横にある溝」と「その反対側にある溝」にそれぞれ合わせる。

距離棒を【上下】にセットする場合

「回転止めピン」2 本を、上記の【左右】にセットする場合の位置から、それぞれ 90° ずらした位置の溝に合わせる。

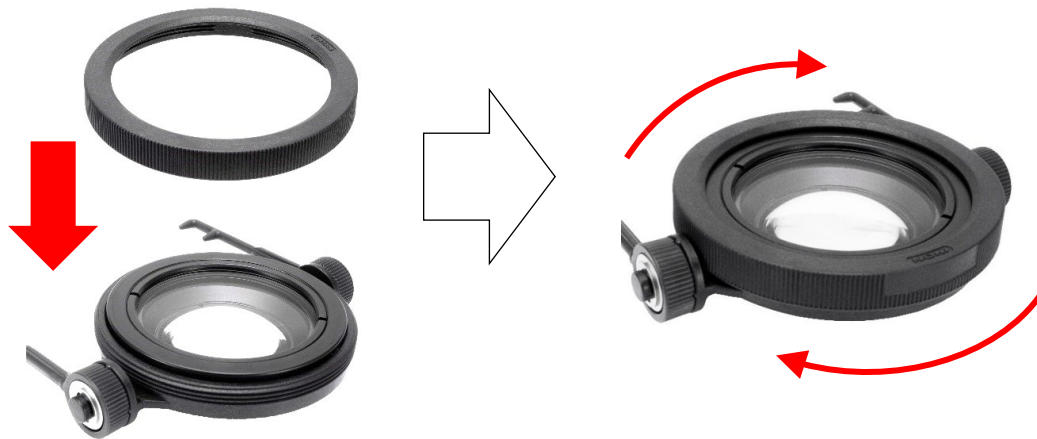


※画像は距離棒を【左右】にセットする場合

(レンズに接写装置を装着する のつづき)

③「レンズ押さえ環」で、接写装置本体とレンズ本体を固定します。

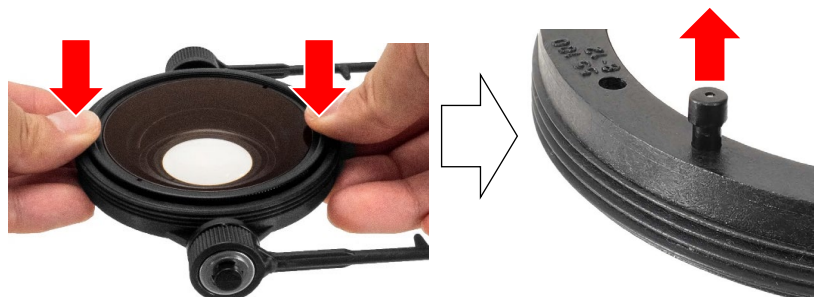
②の状態を維持したまま、「レンズ押さえ環」を被せ、接写装置本体のネジ部にねじ込みます。
「レンズ押さえ環」を強く締め付け過ぎないように注意して下さい。



回転止めピンの取り外す場合

回転止めピンとレンズ本体の溝の位置をずらしてレンズを入れ、ベースを押さえながらパチンという音がするまで押し込み、裏側から飛び出した回転止めピンを抜き取ります。

抜き取りにくい場合はペンチ等で軽くつかんで引き抜いて下さい。



接写装置フロントキャップ / ストラップ

接写装置の装着時専用のフロントキャップです。
付属のストラップを取り付け可能です。



レンズをフロントマスクに取り付ける

- ・ レンズの『指標 A』を、フロントマスクの『指標 A』の位置に合わせ、挿し込みます。
 - ・ レンズの『指標 A』が、フロントマスクの『指標 B』と合うまで、レンズを時計方向に回転させます。
『カチッ』と音がして、レンズの回転がロックされれば取り付け完了です。
 - ・ 取り外す際はフロントマスクの『ロックレバー』を押しながら(ロック解除)、レンズを取り外して下さい。
- ⚠ **ロック解除時は、ロックレバーをしっかりと押し込んでから、レンズを回し始めてください。** ロックレバーを押す前にレンズに力を加えていると、ロックが解除されません



- ・ レンズ面に気泡が残らぬ様、水中で一旦取り外し、よく振って気泡を落としてから、再度セットして下さい。

接写装置を利用してピントを合わせる

UCL-G55 ZD はレンズ前 4.8cm～6.2cm の範囲内でピントが合います。

接写装置の距離棒を目安にすることで、ピント合わせを確実に行うことができます。

- 距離棒の手前の突起
… ピントの合う最短撮影距離
- a 距離棒の手前の突起から先端側の突起の間
… ピントの合う範囲(被写界深度)



※距離棒の幅は、GoPro の視野角(FOV)が[**広角**]設定時でも、画面上に写り込まないように設計されています。

距離棒は根元から 360 ° 回転し、90 ° ごとのクリックを設けているので、不要な場合は瞬時に跳ね上げることが可能です。



本製品のマウント部には、**ストラップ取付部**が備わっています。付属の「着脱式ストラップ」を取り付けるなどして、レンズの落下防止にご利用下さい。



撮影に関するご注意

【UCL-G55 ZD をご利用の際の注意】

- **本レンズは水中専用設計のアタッチメントレンズです。** 陸上での使用は想定されていないのでご留意下さい。

【GoPro 製品使用時の注意点】

- カメラの視野設定(FOV)は、画質重視の撮影では[**広角**]、倍率重視の撮影では[**リニア**]にセットして下さい。
- **8:7 の撮影モード、8:7 を 16:9 へ圧縮した[HyperView™]モードではケラレが発生します。**
4:3 または 16:9 の撮影モードでご使用下さい。(HERO11/HERO12/HERO13)
- **[SuperView™]の使用はお勧めしません。**
SuperView モードは、4:3 のアスペクト比で得られるカメラセンサーの映像を、16:9 のアスペクト比に収まるよう、カメラ内部で映像の両端を引き伸ばす機能です。フレームの端が横に引き伸ばされるため、アタッチメントレンズを装着するとフレーム両端がさらに引き伸ばされ、不自然な映像になります。
- カメラのブレ補正(HyperSmooth)は、[標準]や[高]、[オン]等の設定でご使用下さい。
[オフ]では画面四隅にケラレが生じ、[ブースト]では画面のクロップ率が大きくなります。
- **写真モードの視野設定[広角]では、画面四隅にケラレが生じます。**

取り扱い上の注意

- ・ 本レンズのフロントマスクへの取り付けは確実に行い、レンズに衝撃等が加わった場合は、バヨネット部分が緩んでいないか、確認して下さい。レンズが岩などにぶつくと、不用意にバヨネットのロックが外れ、使用中にレンズが落下する恐れがあります。撮影や移動の前後に、レンズがフロントマスクにしっかりセットされているか、確認をお願いします。
- ・ 本製品取り付け後のカメラシステム運搬時等は、本製品（レンズ本体や接写装置の棒部分等）のみを持たず、カメラシステム全体をしっかり持ってください。また、過度な衝撃や振動、無理な力を与えない様、十分ご注意下さい。
- ・ ご使用後、レンズ面に水滴（海水／真水共に）を残したまま放置したり、レンズキャップを取り付けたり、濡れたままのキャリングケース等にしまわないで下さい。コーティングやガラス自体の劣化による、シミ／ヤケ等の原因となります。軽度のシミ／ヤケは撮影に支障を来たしませんが、重度の場合は問題となる可能性があります。修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。
- ・ 本製品を分解しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ ボートなどの激しい振動や大きな衝撃をレンズに与えないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 不用意に直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。太陽光が集光され、火災の原因となる場合があります。また、レンズを通して太陽を見ないで下さい。眼に損傷を受ける可能性が有ります。
- ・ 砂浜や船のデッキ上など、強い直射日光の当たる場所や、炎天下の自動車内など、高温となる場所に放置しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 落下等によりレンズに割れが生じた場合は、使用しないで下さい。そのまま使うと、割れた箇所より浸水し、水没の原因となります。

メンテナンスについて

【レンズ本体】

- ・ ご使用後は、必ずフロントマスクから取り外して下さい。レンズ本体から接写装置を取り外した後、清浄な真水中（30℃以下）に数時間静置して塩分等を除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、レンズ面に水滴が残っていない事を確認した後、そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい（完全乾燥には数日掛かる可能性があります）。

【接写装置】

- ・ ご使用後はレンズ本体から取り外し、真水で水洗いを行い塩分等の汚れを取り除いた後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、よく乾燥させて下さい。変形や破損の原因になる為、火や熱などに直接当てないで下さい。
- ・ お手入れの際、アルコールやベンジン、シンナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤、洗剤（特にアルカリ性洗剤）などの油脂／化学薬品を使用しないで下さい。本製品の構成部品には、上記物質に触れると溶けたり、脆くなったりといった変化が起こるものがあります。

保管上の注意

- ・ 完全に乾燥させた後に、レンズキャップを取り付け、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管して下さい。樟脳やナフタリン等の薬品雰囲気下や、高湿度下、温度変化の激しい場所等での保管は、故障や浸水、レンズ表面の変性やカビの発生等の原因となりますので、お止め下さい。
- ・ お子様の手の届かない所に保管して下さい。付属品や小さな部品等を誤って飲み込む恐れがあります。万一付属品や小さな部品等を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談下さい。

仕様**イノン 水中クローズアップレンズ UCL-G55 ZD 主要性能 (*1)**

名称	UCL-G55 ZD
寸法	レンズ本体 : 外径 77mm、全長 25.2mm 接写装置装着時 : W121×H 91×D87mm[距離棒使用時] W121×H120×D28mm[距離棒収納時]
重量	189g (レンズ本体・陸上) 45.4g (接写装置単体・陸上) 119g (接写装置装着時・水中)
マウント規格	イノン ZD マウント
実用耐水深	60m
本体材質	耐蝕アルミ合金(硬質黒アルマイト)、ポリカーボネート等
硝材	光学ガラス(両面コーティング)
光学系	2 群 3 枚
被写界深度(*2)	4.8cm～6.2cm
水中画角	約 45° (水中専用)

(*1) 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

(*2) 弊社で実測した“レンズ最前面からの”被写界深度です。

水中目測距離は、表中の値÷1.33 となります。

(*3) 本書内に記載されている全てのブランド名、商品名及び機能名は、各メーカーの商標または登録商標です。

株式会社 イノン
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174
Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp
URL <http://www.inon.co.jp/>

2024 年 11 月